

2022年度大阪公立大学公開講座

人類と 感染症との戦い

～国際感染症研究センターの挑戦～

新型コロナウイルス感染症の出現は、人類が太古の昔から悩まされてきた感染症の恐ろしさを再認識させました。本講座では、大阪公立大学の国際感染症研究センターの研究員が、感染症についてわかりやすく概説し、感染症の諸問題に対してどのような取り組みをしているかについてわかりやすく紹介いたします。



2022年

10/8^{SAT} ~ 12/24^{SAT} 10:30-12:00 各土曜日・全6回

- 会場：大阪公立大学 I-siteなんば（大阪市浪速区敷津東2-1-41 南海なんば第1ビル 2階）
- 定員：60名（申込者多数の場合は抽選） ■ 対象者：どなたでも ■ 受講料：5,000円（全6回分）
- 申込方法：本学Webサイト「申込フォーム」から申し込みいただくか、「往復はがき」で（1）氏名（フリガナ）（2）年齢、（3）郵便番号・住所、（4）電話番号、（5）この講座を知ったきっかけをご記入の上、下記宛先へお申込みください。
※受講の可否は開催日の5日前までに通知します。届かない場合は必ずお問合せください。
- 申込フォーム：右記二次元コードまたは大阪公立大学Webサイトからお申込みください。
- 往復はがき宛先 ※返信用はがきは両面とも白紙でお送りください。
〒599-8531 堺市中区学園町1番1号 大阪公立大学 C5棟 社会連携課「人類と感染症との戦い」係
- 問合せ先：大阪公立大学 社会連携課 Tel 072-254-9942 Fax 072-254-6271

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、本講座は変更・中止となる可能性があります。

申込締切
9/21(水)
必着

申込フォーム▼



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

大阪公立大学Webサイト▶ [大阪公立大学 公開講座](#) 🔍 検索

※お申込みの際の個人情報は、申込後の事務連絡、統計資料等の作成および本学公開講座等のご案内に使用いたします。利用目的以外の使用については、一切いたしません。

◆国際感染症研究センター◆

大阪公立大学の学域・研究科の枠を超えた学際あるいは分野横断型研究を進めるための研究所群（協創研究センター）の一つです。

第1回 10月8日（土）

人類と感染症との戦いの歴史

山崎 伸二（大阪公立大学 国際感染症研究センター 所長/獣医学研究科 教授）

中世ヨーロッパのペスト、天然痘やスペイン風邪等、人類は様々な感染症に悩まされてきました。一方、ワクチンの開発、抗生物質の発見により、人類は感染症に打ち勝つことができるのではと錯覚しました。そして今日……。人類と感染症との戦いの歴史について概説します。



第2回 10月22日（土）

次なるウイルス感染症対策に向けたウイルス探索

堀江 真行（大阪公立大学 獣医学研究科 教授）

ヒトにおける新興感染症の多くは動物が保有するウイルスによって引き起こされてきました。しかし、私たちは動物のウイルスについて全く知らないと言っても過言ではありません。本講義では、ウイルスの基礎を概説するとともに、我々のウイルス探索に関する取り組みを紹介します。



第3回 11月5日（土）

植物を用いたワクチン抗原の発現とその利用の可能性

望月 知史（大阪公立大学 農学研究科 准教授）

北宅 善昭（大阪公立大学 植物工場研究センター長/研究推進機構 特任教授）

遺伝子組換え植物などを利用した植物工場での有用タンパク質生産技術が実用化されています。また、植物ウイルスの高い細胞内増殖性は植物を用いた有用タンパク質生産に利用されています。植物工場を利用したワクチン抗原の発現とその利用の可能性について概説します。



第4回 11月19日（土）

感染拡大の原因から考える新しい感染対策の提案

秋吉 優史（大阪公立大学 工学研究科 准教授）

感染症の拡大には、飛沫感染、エアロゾル感染、接触感染などの経路がありますが、それぞれの特性に合わせた対策を行うことが重要です。我々は新しい工学的な感染制御の手段として光触媒や紫外線の応用を検討しており、どのような場面で活用できるかをお話しします。



第5回 12月10日（土）

そもそも病気にならないまちづくり ～都市の緑と住民の健康～

大塚 芳嵩（大阪公立大学 農学研究科 助教）

感染症は日常生活を変容させ、外出自粛や運動不足による健康状態の悪化も引き起こします。そもそも病気にならないためには何が重要なのでしょうか？今回は、まちの緑地を中心に都市環境が住民の健康状態に及ぼす影響を紹介いたします。



第6回 12月24日（土）

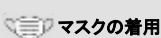
新型コロナウイルス感染症が子ども家庭に及ぼす影響とその方策

山野 則子（大阪公立大学スクールソーシャルワーク評価支援研究所 所長/現代システム科学研究科 教授）

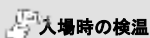
世界中が新型コロナウイルス感染症によって激震しました。特に社会的に弱い立場である子ども、その家族にどんな影響をもたらしたのか、その実態は想像以上でした。厚生労働科学研究の結果から報告し、私たちはどんな社会を目指すべきか、ともに考えたいと思います。



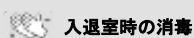
安心・安全のため
皆様へのお願い



マスクの着用



入場時の検温



入退室時の消毒

安心・安全のため
私たちの対策



施設内の消毒



定期的な換気



定員数の削減